

クリック証券 一般の方を対象にした「FXに関する実態調査報告書」を発表

クリック証券株式会社(本社:東京都渋谷区 代表取締役社長:高島 秀行)は、FX(外国為替証拠金取引)における、投資家の動向を把握し、FXの認知拡大を図ることを目的とし、全国のFX経験者、未経験者を対象にアンケート調査を実施いたしました。

～ 主な調査結果 ～

■FXの認知度は57%、取引経験率は7.5%

20歳以上の男女計10,000人を対象に実施した、FXの認知度に関する調査では57%の方が「FXを知っている」と回答、また、7.5%の方が「実際に取引経験がある」と回答しました。

■FXに対するイメージは取引経験前と後で大きく変化

- ・経験前は「ギャンブルである」38.2%、「元本割れしそう」32.5%
- ・経験後は「手数料が安い」62.9%、「手軽に始められる」61.7%

FXのイメージについて聞いたところ、経験者、未経験者ともに「ハイリスク・ハイリターン」(経験者:64.7%、未経験者:49.0%)がもっとも多い回答となりました。しかし、未経験者では「ギャンブルである」38.2%、「元本割れしそう」32.5%と続くのに対し、経験者では「手数料が安い」62.9%、「手軽に始められる」61.7%、「インターネットサービスが充実している」60%と続き、FXの取引経験の前後でFXに対してのイメージが大きく変わることが分かります。

■証拠金は「40万円未満」の方が51.4%、レバレッジ「10倍以下」の堅実な取引をしている方が48%

証拠金については51.4%の方が40万円未満の金額を回答、さらに23.4%の方が10万円未満の金額を回答しました。レバレッジについても10倍以下の堅実な取引をしている方が48%と、約半数いることが分かります。

■レバレッジ規制については「反対」が39.5%。「賛成」30.3%を約9ポイント上回る

2010年8月から始まるレバレッジ規制について聞いたところ、規制に「反対」が39.5%と「賛成」30.3%を約9ポイント上回りました。規制後の自らの取引については「減ると思う」が19.5%だったものの、「どちらともいえない」が69.2%と多数を占めており、規制後の取引について態度が決まっていない方が多いようです。

※本調査は、インターネットリサーチ会社のモニター会員に調査を行い、男女、年代別に振り分け調査を実施したものです。回答者がクリック証券の顧客とは限りません。

※詳細のレポートは、クリック証券のホームページ(<https://www.click-sec.com/corp/news/press/>)をご確認ください。

報道関係の方からのお問い合わせ

クリック証券株式会社
経営企画部
TEL 03-6221-0203 FAX 03-3770-3005
public@click-sec.com

クリック証券株式会社

東京都渋谷区道玄坂1-10-8 渋谷野村ビル
<http://www.click-sec.com/>

関東財務局長(金商)第77号 加入協会:日本証券業協会、金融先物取引業協会

■調査の概要

調査方法：インターネット調査

対象エリア：全国

調査対象：【調査1：一般回答者を対象】全国に住んでいる20歳～69歳の男女計10,000名。

【調査2：FX経験者を対象】Yahoo!リサーチの調査専用パネルの中から、FX経験者に対して調査を行い、下記の割付で調査を実施。

	FX経験者		FX未経験者		計
	男性	女性	男性	女性	
20歳～29歳	100	100	100	100	400
30歳～39歳	100	100	100	100	400
40歳～49歳	100	100	100	100	400
50歳～59歳	100	100	100	100	400
60歳以上	100	26	100	100	326
合計	500	426	500	500	1926

※なお、『FX経験者』『FX未経験者』の考え方は以下のとおり。

①FX経験者：1年以内にFXの取引経験があり、今後も取引継続の意向がある方

②FX未経験者：FXの取引経験がない方（非認知者含む）

調査実施期間：2009年12月5日（土）～12月10日（木）

調査実施機関：Yahoo!リサーチ

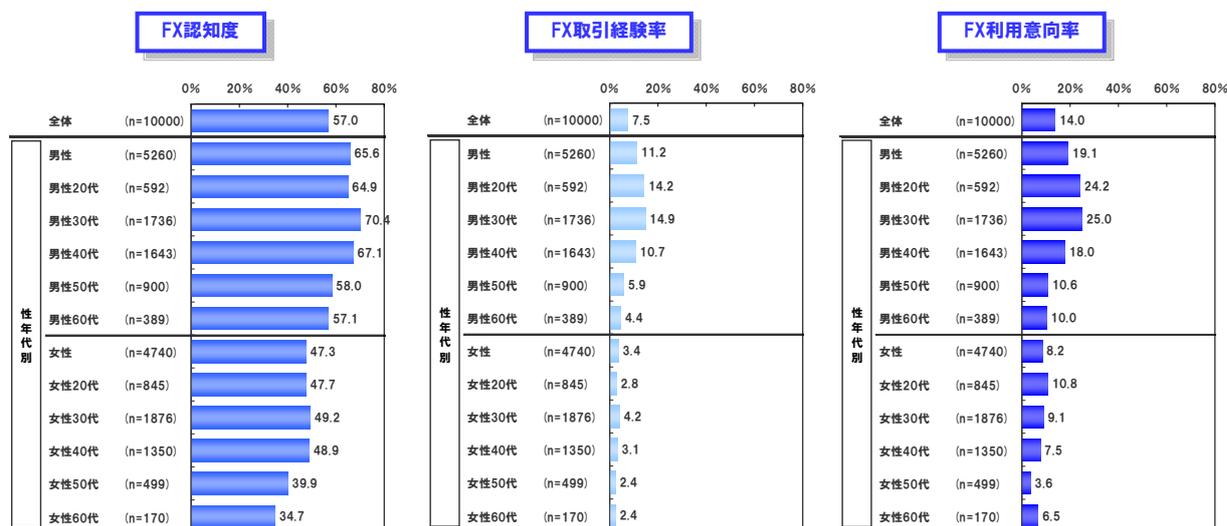
■調査結果サマリー

I. FXについての認知度、イメージについて

I-1. FX認知度調査(20歳以上の男女計10,000人を対象)

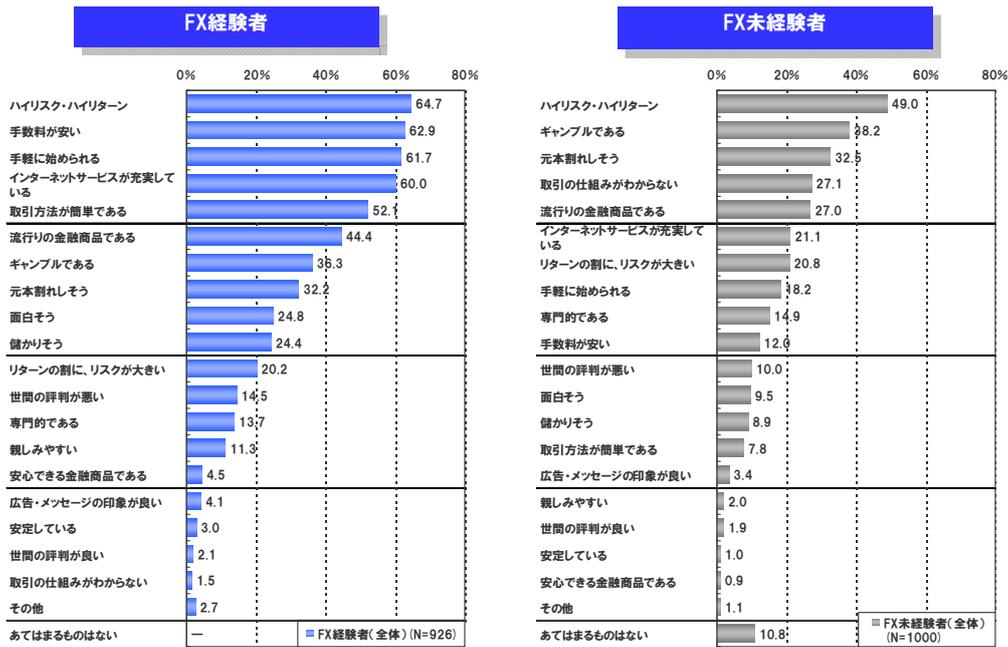
FXに対する認知度は全体で57%となりました。実際にFXの取引を行った方の割合は、全体のわずか7.5%、利用意向でみても、利用意向がある方は全体の14%と、6割弱の認知度はあるものの、取引経験率、利用意向率でみると、まだ低い商品であることが分かりました。

また、男性20代～30代では24～25%と他の世代に比べ、高い利用意向率となりました。



I-2. FXに対するイメージ調査

現在FXの取引を行っている方を対象にFXのイメージを聞いたところ、「ハイリスク・ハイリターン」が64.7%と最も多かったものの、ほぼ同じ割合で「手数料が安い」62.9%、「手軽に始められる」61.7%、「インターネットサービスが充実している」60%と続きました。一方、同様の質問をFX未経験者に聞いたところ、「ハイリスク・ハイリターン」49%に続き、「ギャンブルである」38.2%、「元本割れしそう」32.5%が続いており、FX未経験者ではギャンブルのイメージが強いことが分かりました。



弊社はじめ、業界各社の積極的な広報宣伝活動により、FXの認知度はここ数年で飛躍的に高まったと推測されます。一方、イメージに関してはFX未経験の方では「ギャンブル」という印象を持っている方が多くなっており、実際に取引を行っている方は、「ギャンブル」よりも「手軽さ・便利さ」のイメージが浸透しており、実際に取引をする前と後でFXに対するイメージが変わっているといえます。

II. FX経験者の取引動向調査

II-1. FX経験者の取引動向

実際にFXの取引を行っている、FX経験者の取引動向について調査したところ、FXの利用開始時期は、1年くらい前から利用を開始した方が全体の4割強を占め、取引歴1年未満の新規参加者が多いことが分かりました。また、取引の頻度については、週に2〜3日以上が6割弱。主に夜から深夜の取引が多いことが分かりました。



Ⅲ-3. レバレッジ規制に対する賛成・反対の理由

【賛成】

- ・大きな損失を被ることもあるので、個人のリスク管理を徹底させるのには、いたしかたない。
(男性 50 代)
- ・過度な取引を抑制するために必要(男性 30 代)

【反対】

- ・どれくらいのレバレッジで取引するかは、投資家本人が決めるべきことだと思うから。(男性 30 代)
- ・リスク管理は投資家が行なうもので、国が規制すべきものではない。(男性 40 代)

規制については「反対」が「賛成」を上回る結果になりましたが、規制後の取引については態度が決まっていない方が多い印象です。また、規制開始まで 1 年をきっている状況で、規制の認知度が 74.2%という結果から、取引業者は利用者に向けて認知拡大を図っていく必要があるといえます。

クリック証券株式会社 会社概要

会社名	クリック証券株式会社 < http://www.click-sec.com >
所在地	東京都渋谷区道玄坂 1-10-8 渋谷野村ビル
代表取締役社長	高島 秀行
事業内容	金融商品取引法に基づく第一種金融商品取引業
資本金	30 億 3,066 万 3,925 円